

駒ヶ根民報

No.1364

2016.07.31

日本共産党

駒ヶ根市委員会

TEL 83-2969

宮田村大久保地籍（駒ヶ根市西駒郷施設の対岸） 放射性物質を含む廃棄物最終処分場 建設計画で地元県議との懇談会に

地元県議との懇談会に 3名の県議が出席...

宮田環境を守る会と駒ヶ根水と命を守る会主催による、地元選出県議会議員との懇談会が、宮田村役場でおこなわれました。



3名の県議会議員も会 連帯を表明

出席された県議は順不同で、郡区選出で箕輪町の日本共産党会派の小林伸陽氏、駒ヶ根市選出自民党会派の佐々木祥一氏、伊那市選出自民党会派の酒井茂氏で、それぞれ宮田村に建設計画の放射性物質を含む廃棄物最終処分場に対して、会との連携をもち、県議会の中で反対の立場で臨んでいく事を、表明されました。

懇談では、 多くの要望・意見が

懇談では、予定された定刻いっぱいにも多くの出席者から意見要望質問が寄せられ、長野県に対する環境対応への不満や、地下水水位が高い現在の立地場所による汚染漏れへの懸念、県下の他市町村にも波及する心配、農作物をはじめとする風評被害、放射性物質を含む廃棄物の持ち込みへの懸念、旧建屋解体に伴うアスベスト対応への業者の不信感やそれを一端は簡単に許した県への不信、宮田環境を守る会が3月県議会に出した陳情が採択されなかったことへの懸念や、経過等多くの心配が、一方で県議への期待となつて出されました。



参議院選挙への応援、支持ありが どうだったか

- ▽野党統一候補 杉尾秀哉氏当選。
- ▽日本共産党比例得票6000万以上
- ▽改選前から倍増へ 3→6議席
- ▽長野県出身初の日本共産党参議院の武田良介氏を輩出。
- ▽唐沢千晶氏も比例個人票で3500票以上得票

日本共産党参議院議員 武田良介からのメッセージ

7月10日投票の参議院選挙では野党と市民の共闘は、最初の挑戦としては大きな成功を収めました。全国32の1人区全てで野党統一候補を実現し、長野選挙区の杉尾秀哉新参議院議員、新潟選挙区の森裕子新参議院議員をはじめ、11の選挙区で激戦を制して自民党候補に勝利しました。

日本共産党は、改選3議席を6議席に倍増、私武田良介も長野県初の参議院議員として当選しました。

選挙に結果、改選勢力が議席の3分の2を占めました。自公は選挙戦で「憲法隠し」に終始し、国民は改憲への「白紙委任」を与えたわけでは決してありません。日本の政治を変えるため、みなさんと一層連帯を強め、がんばる決意です。

第7回 平和音楽会 in いなせへのお誘い

ヒロシマナガサキの原爆投下から71年目の夏。
私たちの悲願である核兵器廃絶に向けて、その平和を願う思いを、今年も発信していくこと、平和音楽会を開催することにしました。

日時 8月7日(日)

開場 午後1時30分

開演 午後2時

開場 いなせ6階ホール

伊那市生涯学習センター

入場料 一般800円
中高生200円



第一部

◇アルプスホルン

アルプスホルン 駒ヶ根

◇合唱 たまて箱

◇アコーデオアンサンブル

アンサンブル ドルチェ

◇合唱 うたごえサークルざざむし

第二部

◇合唱と語りによる構成組曲

「平和の旅へ」

「平和の旅へ」は、6歳の時、原爆「ひろし」半身不随の障がいの子となつ

た原爆の被害者、渡邊千恵子さん故人が、想像を絶するような被爆後の青春の日々をのり越え、母親の励ましを得ながら、ナガサキの語り部として生きることに人生の意味を見出し、車いすで核兵器廃絶を訴える「平和の旅」に出かけるようになるまでの半生を綴った、合唱と語りによる構成組曲です。

主催 いたごえサークルざざむし

問い合わせ 94-3594 大場 駒ヶ根 090-6545-2504 竹村

学ぶことは生きる力

上伊那学習センターのお誘い

○勤労者通信大学
憲法コース受講生募集

受講料 1万円

戦争へ出来る国へ進む情勢の中今輝く日本国憲法を改めて学習してみませんか。誰もが幸せに暮らし働くことが出来ること、憲法で保障されています。

- ◇第1章 憲法には人類の宝がいっぱい
- ◇第2章 日米安保体制のせめぎあい
- ◇第3章 働くルール 社会保障と憲法
- ◇第4章 国民主権 議会制民主主義・参政権 司法地方自治
- ◇第5章 教育と日本国憲法
- ◇第6章 両性の平等と日本国憲法

※16年度学生を9月末まで募集します



勤労者通信大学 03-5842-5644

問い合わせは上伊那学習センター 090-6545-2504 竹村まで